

かなしん景況レポート



逗子海岸海水浴場 山崎職員(現辻堂支店支店長)提供

目次

景気動向	“中東情勢の影響から景気の先行き不透明感が増す”	2
	地域経済(全業種総合)および業種別経済	4
	特別調査 「中小企業における価格転嫁について」	18
お客さま景況インタビュー	有限会社 三浦衛生社 『三浦市地域の生活環境を支え続け、70年』	19
トピックス	「法人企業景気予測調査(横浜財務事務所)業況D.I.の推移」	2
	「神奈川県金融経済概況(日本銀行横浜支店:2026年6月)のポイント」	5

調査概要

調査時期	令和8年5月18日から令和8年6月5日まで
調査地域	横須賀市・逗子市・三浦市・三浦郡葉山町・鎌倉市・横浜市・川崎市・藤沢市・茅ヶ崎市 大和市・綾瀬市・高座郡寒川町
調査方法	調査員による面接聞き取り方式又は対象企業先による直接記入方式
分析方法	各質問項目で、「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心に分析を行いました。
回答率	調査先数 当金庫取引先 500先 回答先 484先 回答率 96.8%

全業種総合天気図

	2025年7～9月	2025年10～12月	2026年1～3月	2026年4～6月	2026年7～9月 来期予想
全業種総合					
製造業					
卸売業					
小売業					
サービス業					
建設業					
不動産業					

低調

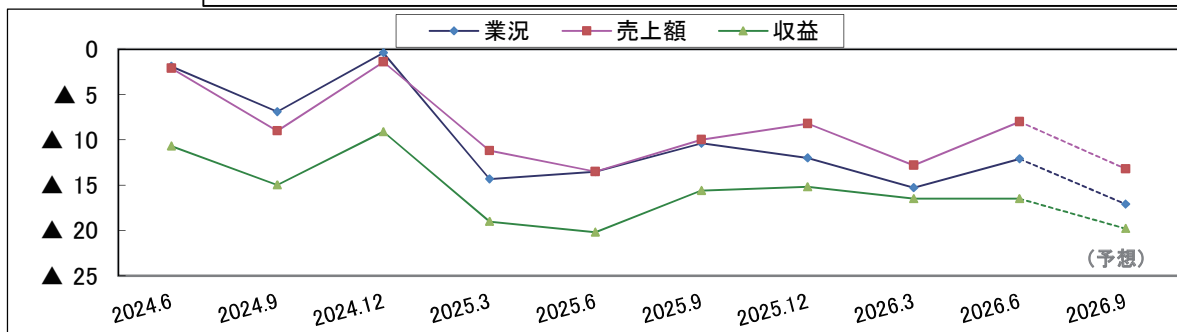
天気図

好調

この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。

“中東情勢の影響から景気の先行き不透明感が増す”

当金庫 業況・売上額・収益D.I.の推移(全業種総合)

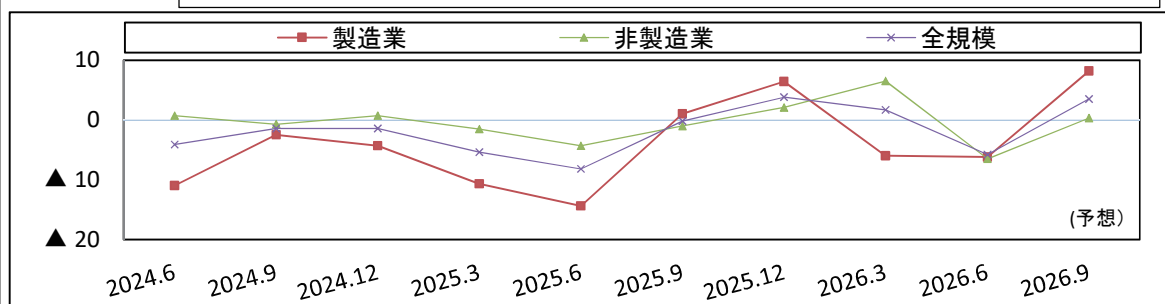


●当金庫景気動向調査(2026年4～6月期)

- ・2026年4～6月期の業況判断D. I. は▲12.1と、対前期比3.2ポイントの改善となりましたが、前回調査時の今期見通し(▲5.6)を6.5ポイント下回りました。来期予想は▲17.1と、5.0ポイントの低下となる見込みです。売上額判断D. I. は▲8.0と、対前期比4.8ポイントの改善、収益判断D. I. は▲16.5と、対前期比横ばいの推移となりました。

調査対象先からは、中東情勢に関する意見を多くいただきました。「物価上昇のため、仕事量が減ってきている。中東情勢の問題が解決しない限り、好転は望めません」(製造業)、「中東情勢の影響が、大きくなっています」(卸売業)、「中東情勢の不透明感から、プラスチック容器、透明のシロップ容器などの入荷が困難になっている」(小売業)、「今後、中東情勢が長引けば、景気の悪化が懸念される」(サービス業)、「中東の原油不足の影響で資材不足があり、現場作業が延期や未定となっている。人材不足に加え資材不足となり、今後不透明な状況である。少なからず業績への影響は避けられない状況にある」(建設業)、「不動産・建設関係は、相変わらず動きが鈍い状況と思われます。但し、夏以降は徐々に良くなって行くものと見込んでいます」(不動産業)等の意見が見られました。

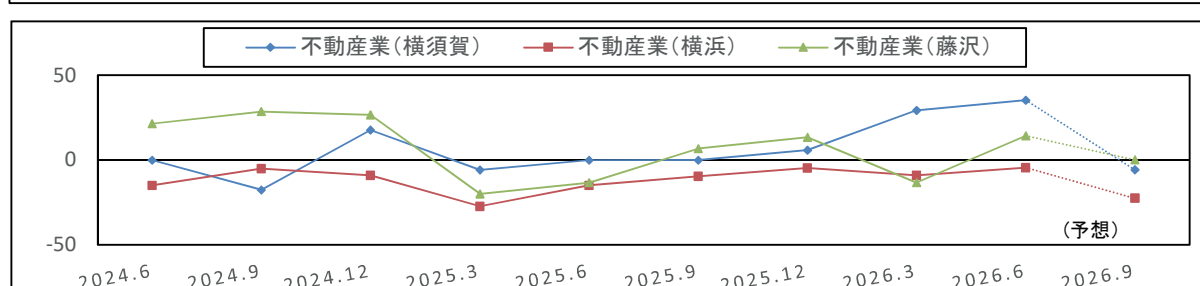
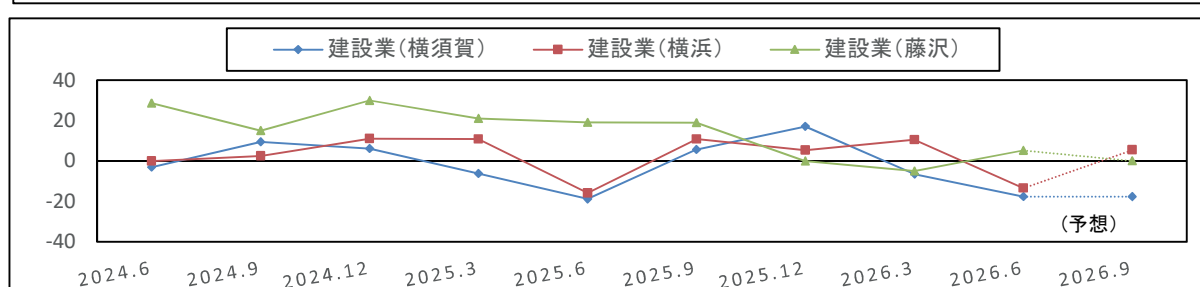
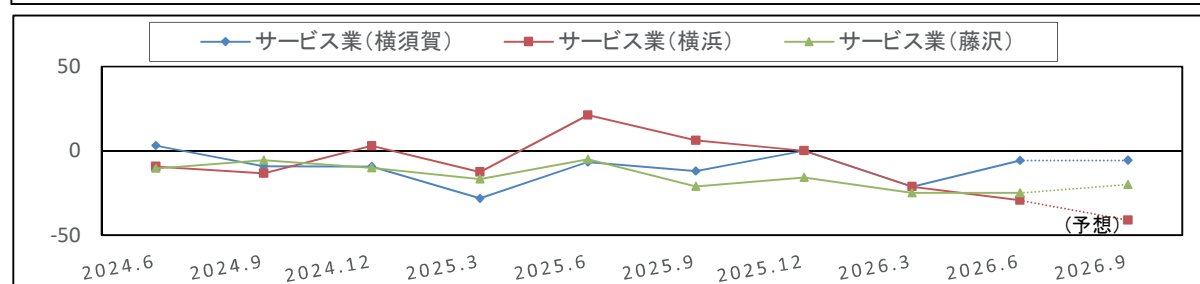
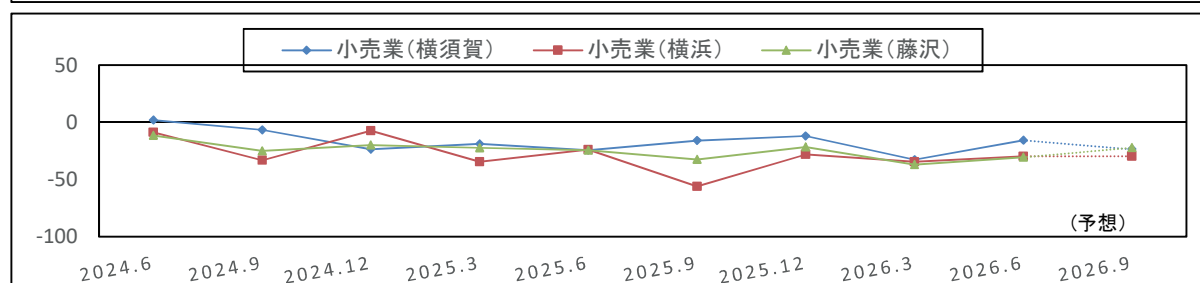
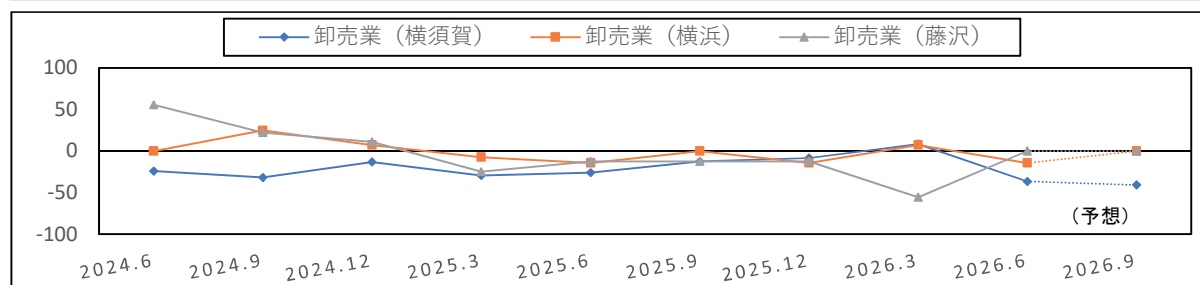
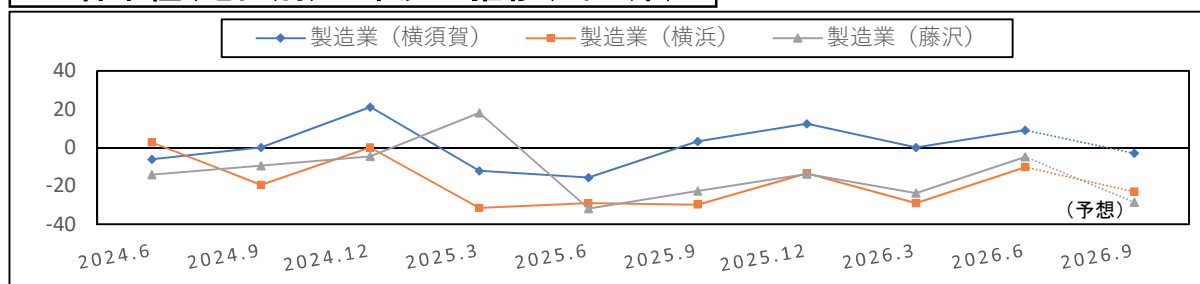
法人企業景気予測調査(横浜財務事務所)業況D.I.の推移



●法人企業景気予測調査：神奈川県分(2026年4～6月期 全規模、製造業、非製造業)

- ・大企業も含めた全規模・全産業の業況判断D. I. は▲5.8と、対前期比7.5ポイントの低下となり、マイナス圏に転じました。来期予想は3.5と、9.3ポイントの改善となり、再びプラス圏に転じる見込みです。
- ・製造業の業況判断D. I. は▲6.2と、対前期0.2ポイントのわずかながら低下となり、連続してマイナス圏となりました。自動車・同附属品製造業や金属製品製造業で、中東向け自動車の出荷停止が響いたことが低下要因として挙げられます。
- ・非製造業の業況判断D. I. は▲5.5と、対前期比12.0ポイントの低下となり、マイナス圏に転じました。建設業や卸売業で、資材の高騰等の影響が低下要因として挙げられます。

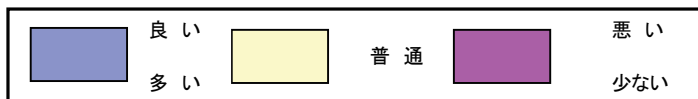
各業種(地区別)の業況の推移(当金庫)



全業種総合

～業況は不動産業が唯一プラス水準に、来期は全業種マイナス水準の見込み～

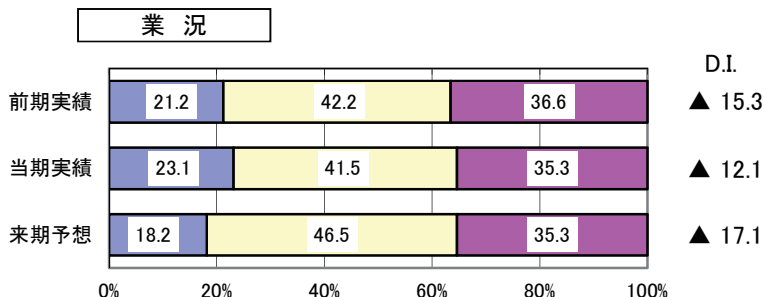
当期実績(2026年4～6月期実績)
来期予想(2026年7～9月期予想)



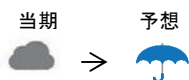
1. 業 況



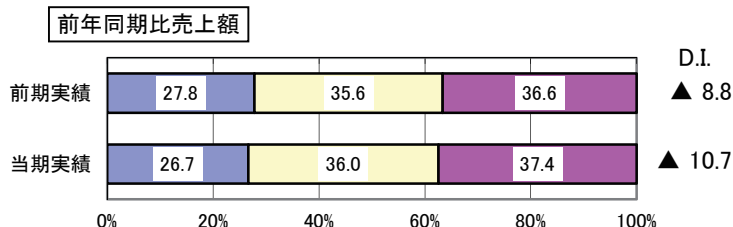
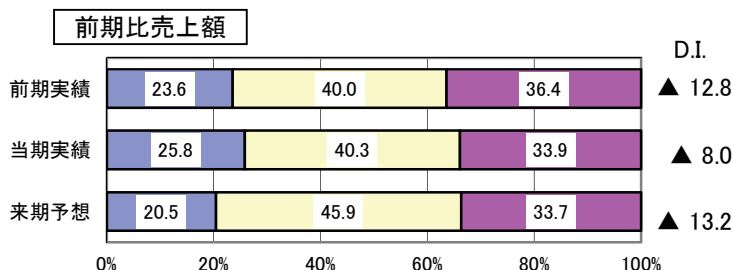
当期の業況判断D. I. は▲12.1と、対前期比3.2ポイントの改善となりました。前回調査時における今期見通し(▲5.6)を6.5ポイント下回りました。業種別に見ると、6業種中、不動産業が唯一プラス水準を維持した業種となりました。来期予想については、D. I. は▲17.1と、5.0ポイントの低下となる見込みです。



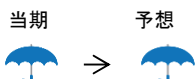
2. 売上額



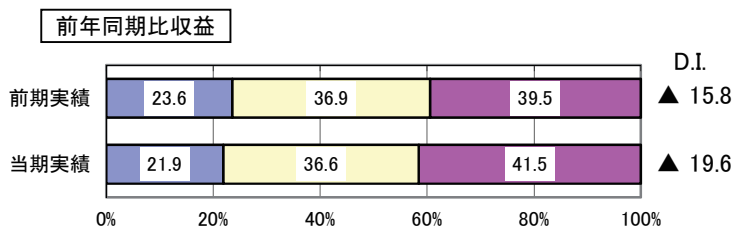
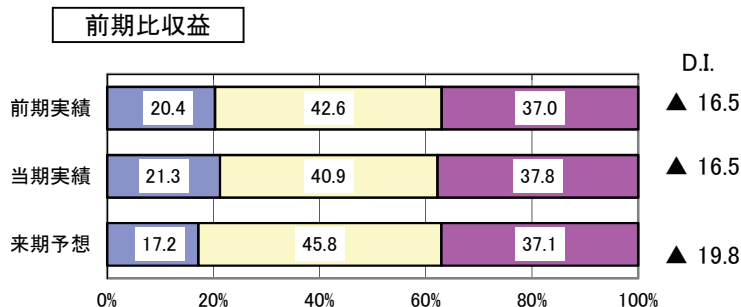
当期の売上額判断D. I. は▲8.0と、対前期比4.8ポイントの改善となりました。業種別に見ると、6業種中、製造業がプラス水準へ転じ、不動産業は2期連続してプラス水準を維持しました。来期予想については、D. I. は▲13.2と、5.2ポイントの低下となる見込みです。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲10.7と、1～3月期から1.9ポイントの小幅低下となりました。



3. 収 益



当期の収益判断D. I. は▲16.5と、対前期比横ばいの推移となりました。業種別に見ると、6業種中、不動産業が唯一3期連続してプラス水準を維持しました。来期予想については、D. I. は▲19.8と、3.3ポイントの低下となる見込みです。対前年同期比の収益判断D. I. は▲19.6と、1～3月期から3.8ポイントの低下となりました。

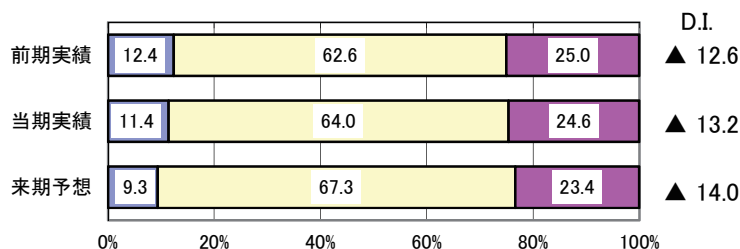


4. 資金繰り

当期 予想
☔ → ☔

当期の資金繰り判断D. I. は▲13.2と、対前期比0.6ポイントの小幅低下となりました。業種別に見ると、6業種中、不動産業が唯一プラス水準を維持した業種となりました。来期予想については、D. I. は▲14.0と、0.8ポイントの小幅低下となる見込みです。

資金繰り

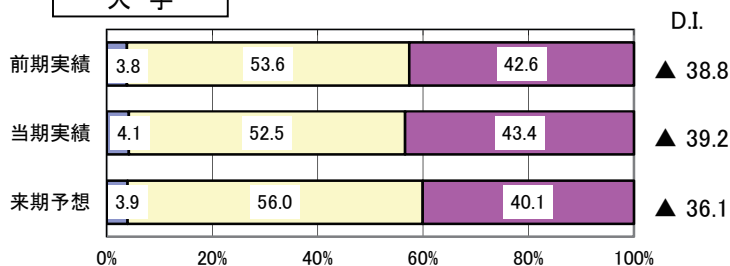


5. 雇 用

当期 予想
☔ → ☔

当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲39.2と、対前期比0.4ポイントのわずかながら低下となりました。雇用については、依然として人手不足感が強く、厳しい水準が続いています。来期予想については、D. I. は▲36.1 と、人手不足感は多少緩和する見込みです。

人 手



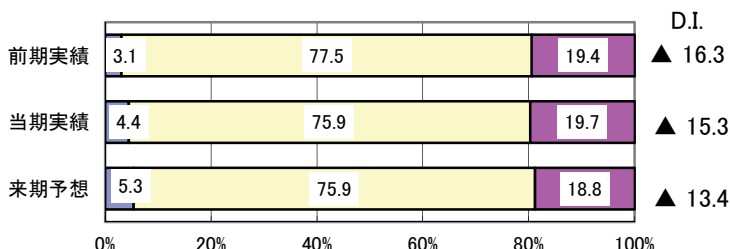
※雇用判断D.I.(過剰-不足) マイナスは人手不足

6. 設備状況

当期 予想
☔ → ☔

当期の設備状況判断D. I. は▲15.3と、対前期比1.0ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲13.4と、不足感は更に小幅緩和する見込みです。

設備状況



神奈川県金融経済概況(日本銀行横浜支店:2026年6月)のポイント

【総括判断】 一部に弱めの動きもみられるものの、緩やかに回復している。(前回判断据え置き)

【主な個別項目の特記事項】

➤生産：緩やかに増加している。(前回判断据え置き)

・素材関連は、弱めの動きとなっている。輸送機械は、横ばい圏内で、はん用・生産用・業務用機械は、増加している。電気機械は、緩やかに増加している。

➤個人消費：一部に弱めの動きもみられるものの、着実に回復している。(前回判断据え置き)

・ドラッグストア販売額は堅調に推移、宿泊施設の客室稼働率、延べ宿泊者数は高めの水準で推移。

➤住宅投資：持ち直しの動きがみられている。(前回判断据え置き)

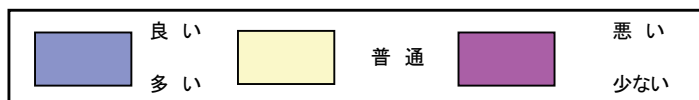
・2026年4月の新設住宅着工戸数は、貸家、持家が増加したものの、分譲マンション、分譲戸建てが減少したことから、全体では前年を下回った。

【先行きのリスク要因】 中東情勢の影響による物価上昇が、設備投資や個人消費への下振れ要因。

製造業

～人手を除き改善、売上は大幅改善でプラス水準に、来期は再び低下の見込み～

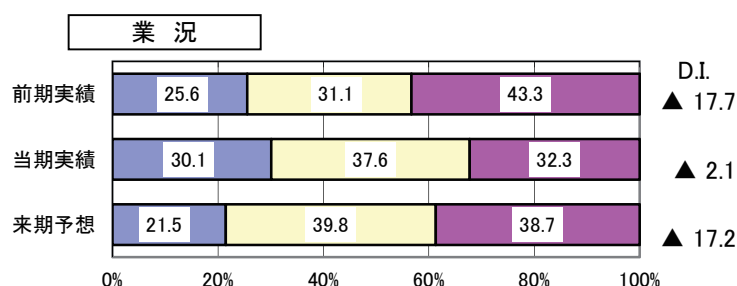
当期実績(2026年4～6月期実績)
来期予想(2026年7～9月期予想)



1. 業況

当期 予想
☁️ ➡️ ☔️

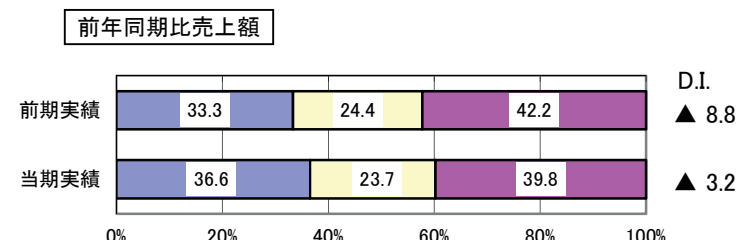
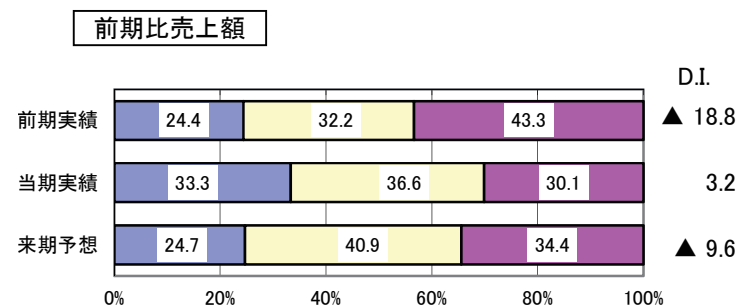
当期の業況判断D.I.は▲2.1と、対前期比15.6ポイントの改善となりました。前回調査時における今期見通し(▲4.4)を2.3ポイント上回りました。来期予想については、D.I.は▲17.2と、15.1ポイントの低下となる見込みです。



2. 売上額

当期 予想
☁️ ➡️ ☁️

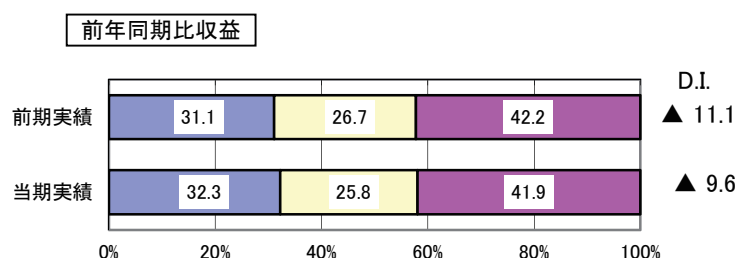
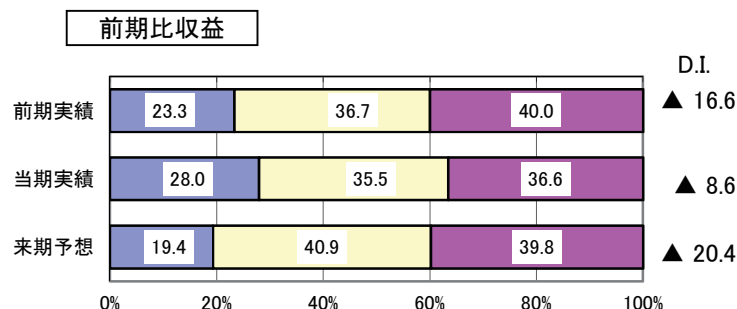
当期の売上額判断D.I.は3.2と、対前期比22.0ポイントの大幅改善となり、プラス水準に転じました。来期予想については、D.I.は▲9.6と、12.8ポイントの低下となり、再びマイナス水準に転じる見込みです。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲3.2と、1～3月期から5.6ポイントの改善となりました。



3. 収益

当期 予想
☁️ ➡️ ☔️

当期の収益判断D.I.は▲8.6と、対前期比8.0ポイントの改善となりました。来期予想については、D.I.は▲20.4と、11.8ポイントの低下となる見込みです。対前年同期比の収益判断D.I.は▲9.6と、1～3月期から1.5ポイントの小幅改善となりました。

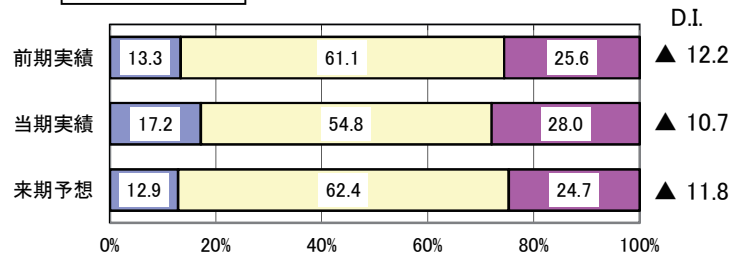


4. 資金繰り

当期 予想
☔ → ☔

当期の資金繰り判断D. I. は▲10.7と、対前期比1.5ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲11.8と、1.1ポイントの小幅低下となる見込みです。

資金繰り

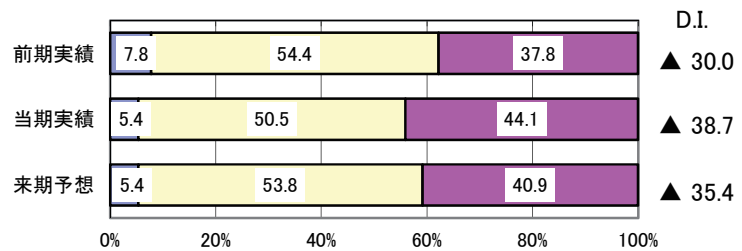


5. 雇 用

当期 予想
☔ → ☔

当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲38.7と、対前期比8.7ポイントの低下となり、依然厳しい水準で推移しています。来期予想については、D. I. は▲35.4と、人手不足感は、多少緩和する見込みです。

人 手

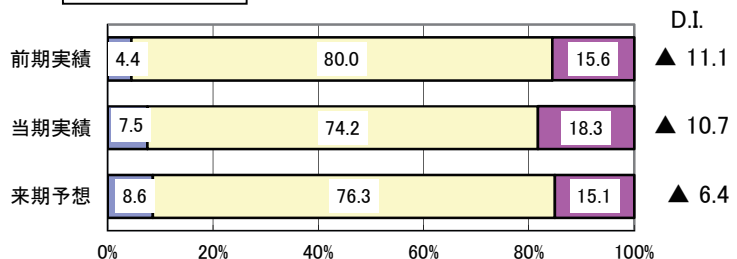


6. 設備状況

当期 予想
☔ → ☁

当期の設備状況判断D. I. は▲10.7と、対前期比0.4ポイントのわずかながら改善となりました。来期予想については、D. I. は▲6.4と、不足感は更に緩和する見込みです。

設備状況



調 査 先 の コ メ ン ト

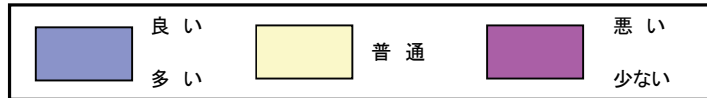
- 工作機械に使用する作動油が入手しにくくなった。
- 受注が底堅く、工場の高稼働が続いている。
- 先行きが見通せないので、非常に困惑している。
- 自社工場を前期購入することができ、工場経営の自由度が上がり、設備更新も順調に進んでいる。今後はエンジニアリング会社とタッグを組み、メーカーになれるよう会社経営を行ってまいります。
- 建機の国内の業況は弱含み。公共投資の下支えはあるものの横ばいで、メーカーからの発注も様子見のところがあり、売上は力強さに欠ける。
- メッキや熱処理などの表面処理技術は日本のものづくりを底辺から支える極めて重要な基盤である一方、発注側（委託元）との立場に格差が生じやすく、下請法への対応で苦慮するケースは後を絶ちません。こうした取引先に対し、経営者としてどのように向き合い交渉を進めるべきか外堀を埋めるロジックと毅然とした交渉術が必要になっています。
- 諸々の資材（重油等）不足と人材不足の二重苦です。
- 買占め等によって、原材料費が高止まりする傾向が強まっている。自社さえ生き残ればよいと考える企業や経営者が増えているように感じる。
- 社会情勢の不安定さ、戦争など先を見通せない状況が続いているので、海外仕入れが不安です。

以下17ページに記載

卸売業

～業況、収益等共に低下し厳しい水準に、来期も同様の水準が続く見込み～

当期実績(2026年4～6月期実績)
来期予想(2026年7～9月期予想)

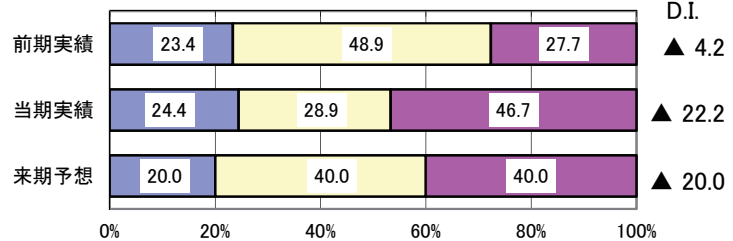


1. 業況

当期 → 予想
☔ → ☔

当期の業況判断D. I. は▲22.2と、対前期比18.0ポイントの低下となりました。前回調査時における今期見通し(▲6.3)を15.9ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は▲20.0と、2.2ポイントの小幅改善となる見込みです。

業況

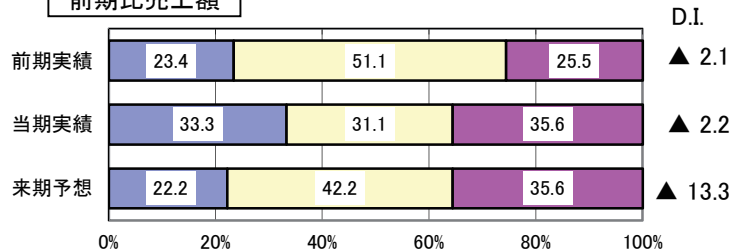


2. 売上額

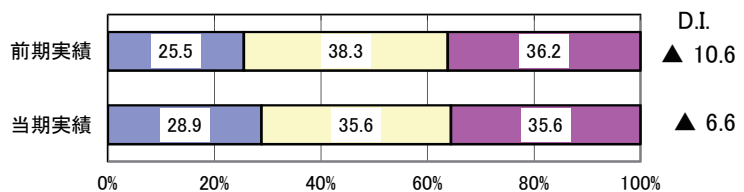
当期 → 予想
☁ → ☔

当期の売上額判断D. I. は▲2.2と、対前期比0.1ポイントのわずかながら低下となりました。来期予想については、D. I. は▲13.3と、更に11.1ポイントの低下となる見込みです。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲6.6と、1～3月期から4.0ポイントの改善となりました。

前期比売上額



前年同期比売上額

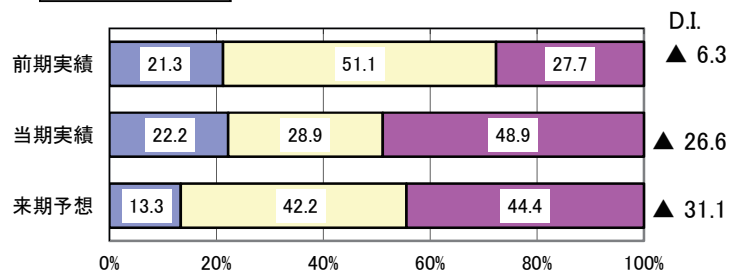


3. 収益

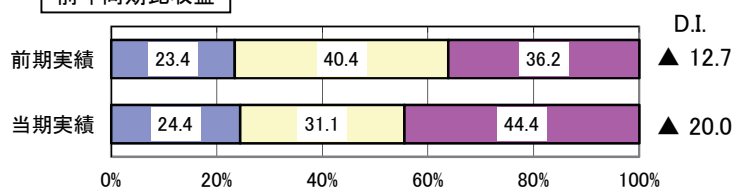
当期 → 予想
☔ → ☔

当期の収益判断D. I. は▲26.6と、対前期比20.3ポイントの大幅低下となり、6業種中、小売業に次いで厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲31.1と、4.5ポイント更に低下する見込みです。対前年同期比の収益判断D. I. は▲20.0と、1～3月期から7.3ポイントの低下となりました。

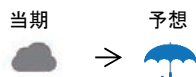
前期比収益



前年同期比収益

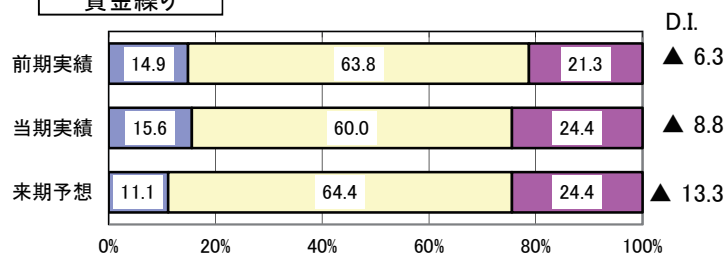


4. 資金繰り



当期の資金繰り判断D. I. は▲8.8と、対前期比2.5ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲13.3と、更に低下となる見込みです。

資金繰り

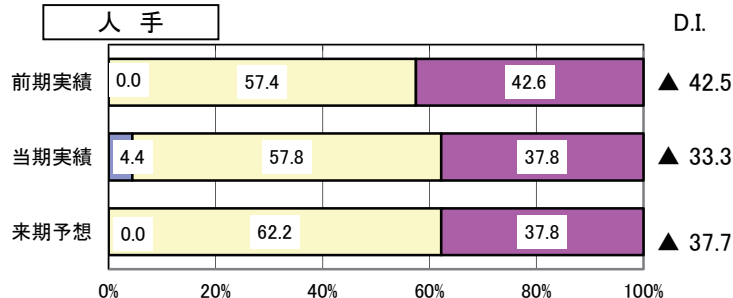


5. 雇 用



当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲33.3と、対前期比9.2ポイントの改善となりましたが、人手不足感は依然として厳しい水準にあります。来期予想については、D. I. は▲37.7と、人手不足感は再び強まる見込みです。

人 手

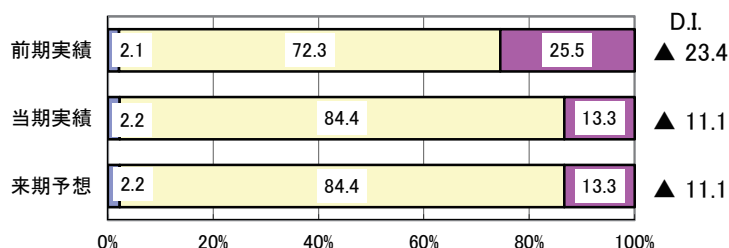


6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲11.1と、対前期比12.3ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲11.1と、横ばいで推移する見込みです。

設備状況



調 査 先 の コ メ ン ト

- 当社の取扱品は塗料関係なので、注文しても入荷がない、もしくは遅れる傾向が続いています。塗料シンナーはどうにか入荷できるようになったものの、その他の入荷が厳しくなっていて、顧客の注文に間に合わないこともあります。
- 建設資材の内、石油系を原料としている資材の供給が止まっている。また、仕入価格が上昇しており、今後の販売価格についてお客さま交渉がどこまで対応できるか不明です。
- 中東の戦争のため工事が遅れ、出荷遅れとなっている。
- 中東情勢の影響が、大きくなっています。
- リピート品の問い合わせでも、価格変動(値上げ)のため、再見積もりに時間にとられるので決まるまでの時間がかかります。価格上昇が早く落ち着いてほしいと考えています。
- 日本全体で人口が減少して、コロナ以降特に色々な物の価値観が変わり、一段と人の心理状況の変化を捉えていかないと商売が持続できない気がする。
- 仕入価格が上昇し、収益が減少しています。

小 売 業

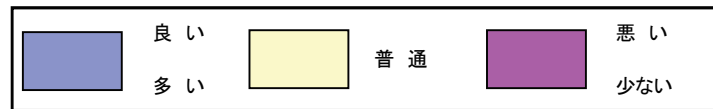
～業況、売上等はマイナス水準ながら改善するも、来期は小幅に低下の見込み～

当期実績(2026年4～6月期実績)
来期予想(2026年7～9月期予想)

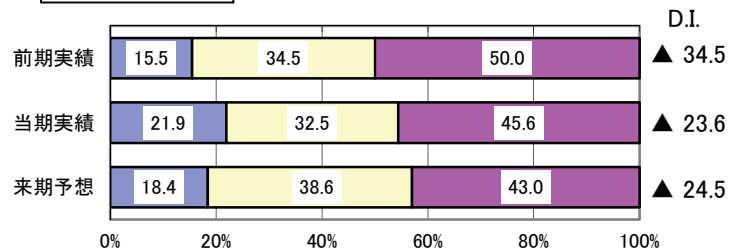
1. 業 況

当期 → 予想

当期の業況判断D. I. は▲23.6と、対前期比10.9ポイントの改善となりましたが、6業種中、マイナス水準が最も大きい業種となりました。前回調査時における今期見通し(▲17.2)を6.4ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は▲24.5と、0.9ポイントの小幅低下となる見込みです。



業 況

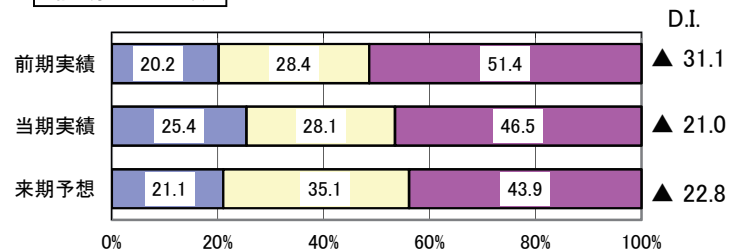


2. 売 上 額

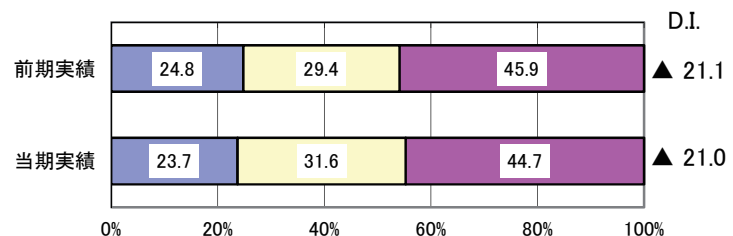
当期 → 予想

当期の売上額判断D. I. は▲21.0と、対前期比10.1ポイントの改善となりましたが、6業種中、マイナス水準が最も大きい業種となりました。来期予想については、D. I. は▲22.8と、1.8ポイントの小幅低下となる見込みです。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲21.0と、1～3月期から0.1ポイントのわずかながら改善となりました。

前期比売上額



前年同期比売上額

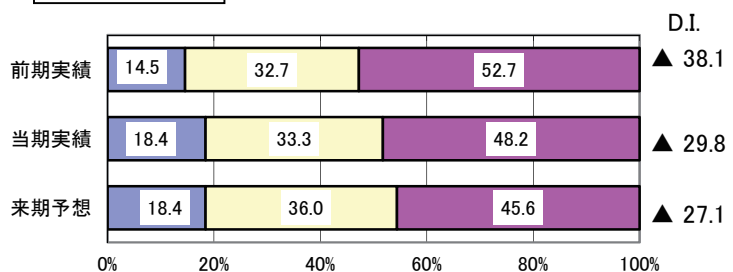


3. 収 益

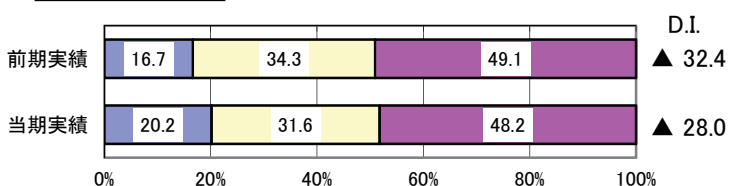
当期 → 予想

当期の収益判断D. I. は▲29.8と、対前期比8.3ポイントの改善となりましたが、6業種中、マイナス水準が最も大きい業種となりました。来期予想については、D. I. は▲27.1と、更に2.7ポイントの改善となる見込みです。対前年同期比の収益判断D. I. は▲28.0と、1～3月期から4.4ポイントの改善となりました。

前期比収益



前年同期比収益

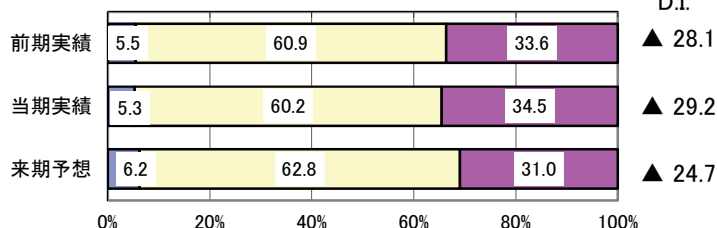


4. 資金繰り

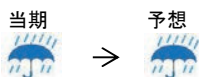


当期の資金繰り判断D. I. は▲29.2と、対前期比1.1ポイントの小幅低下となり、資金繰りは6業種中、最も厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲24.7と、4.5ポイントの改善となる見込みです。

資金繰り

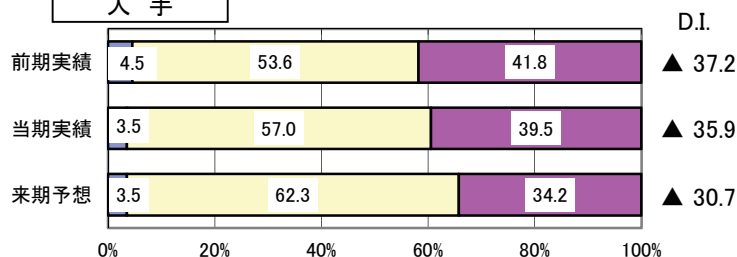


5. 雇用

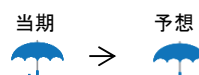


当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲35.9と、対前期比1.3ポイントの小幅改善となりましたが、依然厳しい水準となりました。来期予想については、D. I. は▲30.7と、人手不足感は更に緩和する見込みです。

人手

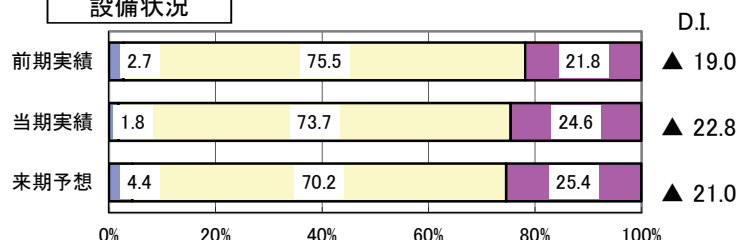


6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲22.8と、対前期比3.8ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲21.0と、不足感は小幅に緩和する見込みです。

設備状況



調査先のコメント

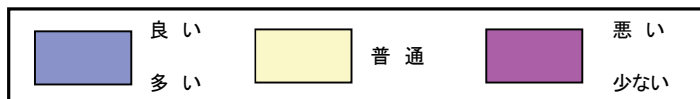
- ナフサ等石油関連資材の不足により、住宅設備機器の入荷時期が見通せない。現状入荷待ちで、顧客にも目途をはっきり説明できないでいる。
- 4～6月の業況・売上額および収益に関する「やや良い」並びに「やや増加」は、5月末日に実施される県と市で行う30%お得なプレミアム商品券の発売があるので、消費者の方が買い物に多く利用していただけることを期待しています。
- 母の日の客数が減少。葬儀数が減っており生花の売上も減少しているうえ、仕入高である。
- 客数、売上共に安定しているが、国際問題が種々発生しており、それに対する適切な対応ができていないように感じる。ここから発生しうる商品、材料価格の上昇や品不足が心配である。
- 中東情勢の不透明感から、プラスチック容器、透明のシロップ容器などの入荷が困難になっている。
- 資材・包材の価格上昇、魚の運搬費のコスト上昇を感じます。
- 仕入価格や光熱費などの諸経費が上昇し続けている一方で、販売価格に適正に転嫁することが難しく、売上高が横ばいであっても利益が減少傾向にある。業務効率化を進めて、設備投資はしたものの残業時間は、やや増加してる。
- コメ価格が定まらず、どうなるか心配である。
- 仕入、経費すべて高コストです。

以下17ページに記載

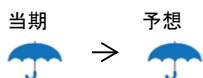
サービス業

～業況、売上等はマイナス水準ながら改善へ、来期は再び低下の見込み～

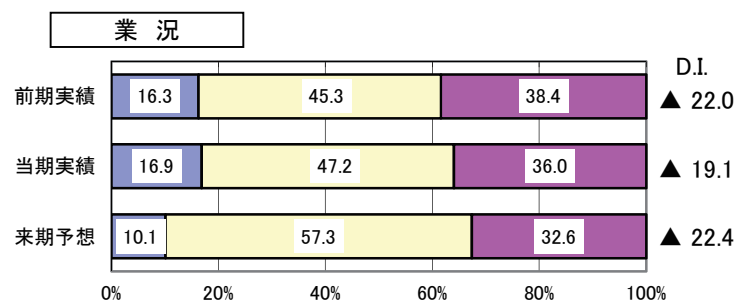
当期実績(2026年4～6月期実績)
来期予想(2026年7～9月期予想)



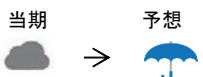
1. 業 況



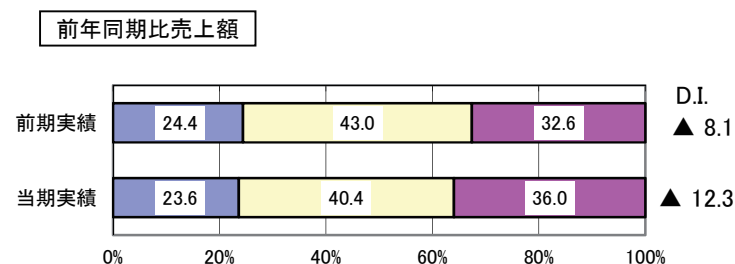
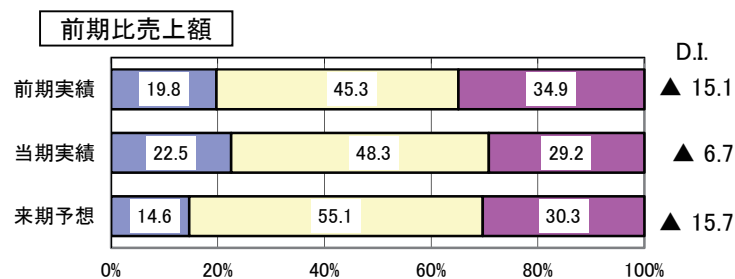
当期の業況判断D. I. は▲19.1と、対前期比2.9ポイントの小幅改善となりました。前回調査時における今期見通し(3.4)を22.5ポイント大幅に下回りました。来期予想については、D. I. は▲22.4と、3.3ポイントの低下となる見込みです。



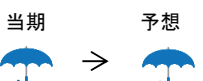
2. 売上額



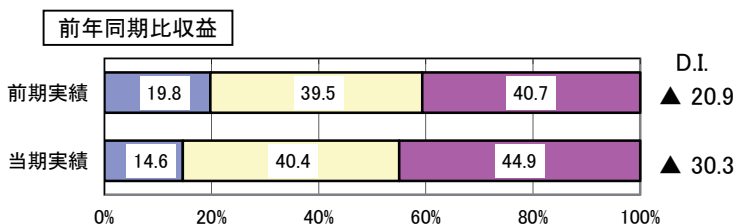
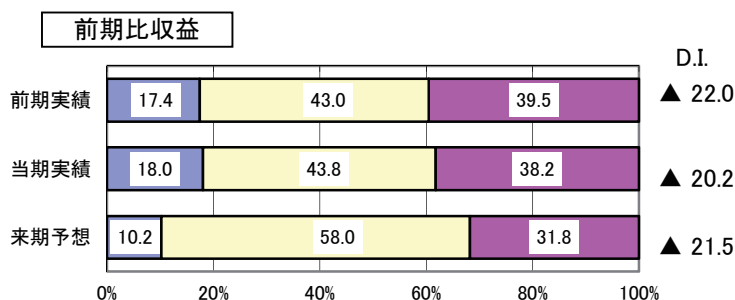
当期の売上額判断D. I. は▲6.7と、対前期比8.4ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲15.7と、9.0ポイントの低下となる見込みです。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲12.3と、1～3月期から4.2ポイントの低下となりました。



3. 収 益



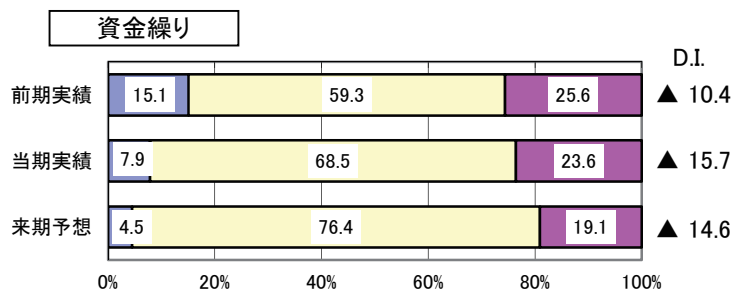
当期の収益判断D. I. は▲20.2と、対前期比1.8ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲21.5と、1.3ポイントの小幅低下となる見込みです。対前年同期比の収益判断D. I. は▲30.3と、1～3月期から9.4ポイントの低下となりました。



4. 資金繰り

当期 予想
☔ → ☔

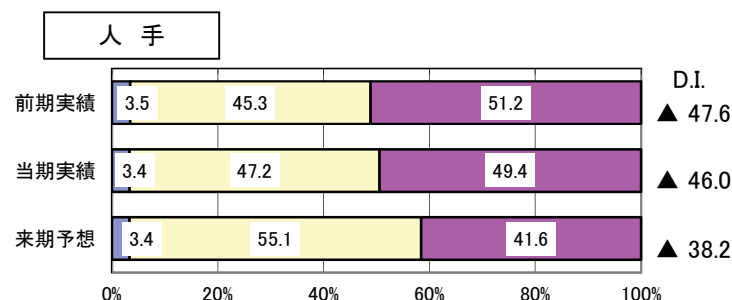
当期の資金繰り判断D. I. は▲15.7と、対前期比5.3ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲14.6と、1.1ポイントの小幅改善となる見込みです。



5. 雇用

当期 予想
☔ → ☔

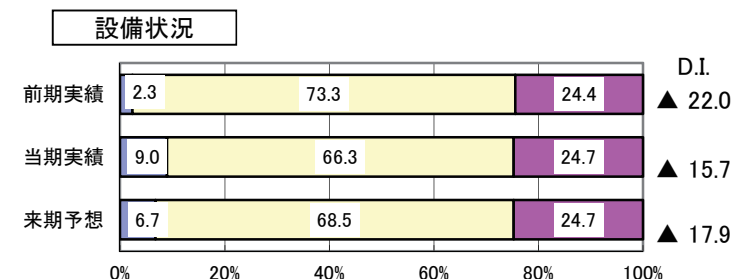
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲46.0と、対前期比1.6ポイントの小幅改善となりましたが、6業種中、人手不足感が、最も厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲38.2と、人手不足感は更に緩和しますが、厳しい水準が続く見込みです。



6. 設備状況

当期 予想
☔ → ☔

当期の設備状況判断D. I. は▲15.7と、対前期比6.3ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲17.9と、不足感は再び強まる見込みです。



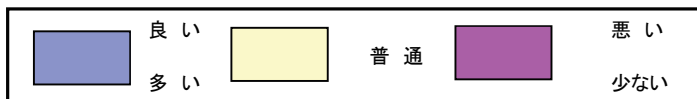
調査先のコメント

- 燃料高騰や不足他、見通しがつかない。
- 電気、ガス代および資材の高騰がどうなるか懸念している。
- 中東情勢の影響で、事務用品の値上がりが始まっている。
- 今後、中東情勢が長引けば、景気の悪化が懸念される。
- 利用体験、実習、契約等少しずつ増えている。これからも体験を行い、契約まで結びつけていければと考えています。
- ナフサ関連の大型ラップ等が、入手しにくくなった。燃料はトータルで10%~20%増額となりました。
- 現在の情勢が全ての分野に影響しており、業界的にも当社においても先行きが読めない状況です。
- 人員削減しました。
- 原油関連の影響で、今後の展開が読めない状況です。

建設業

～業況、売上等共に4期ぶりに、マイナス水準に転じるも、来期は改善の見込み～

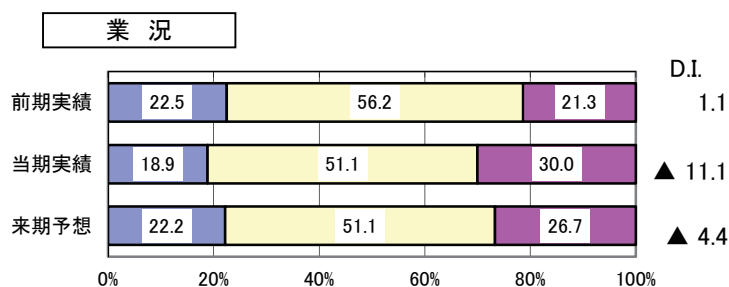
当期実績(2026年4～6月期実績)
来期予想(2026年7～9月期予想)



1. 業況

当期 → 予想
☔ → ☁

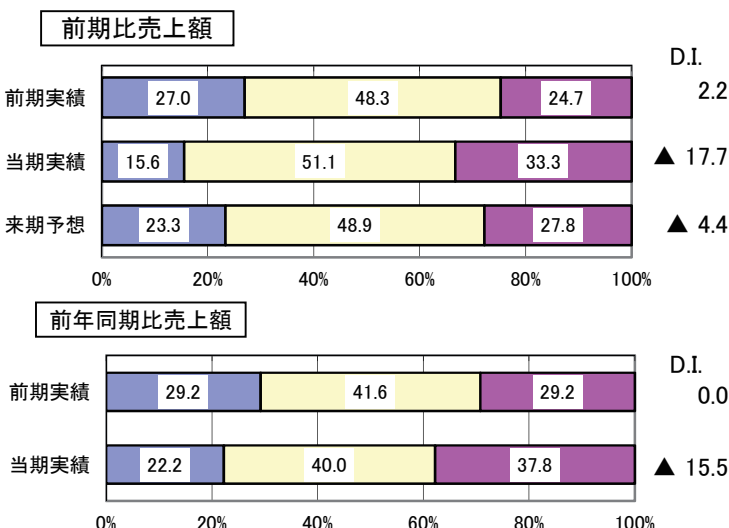
当期の業況判断D. I. は▲11.1と、対前期比12.2ポイントの低下となり、4期ぶりにマイナス水準に転じました。前回調査時における今期見通し(0.0)を11.1ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は▲4.4と、6.7ポイントの改善となる見込みです。



2. 売上額

当期 → 予想
☔ → ☁

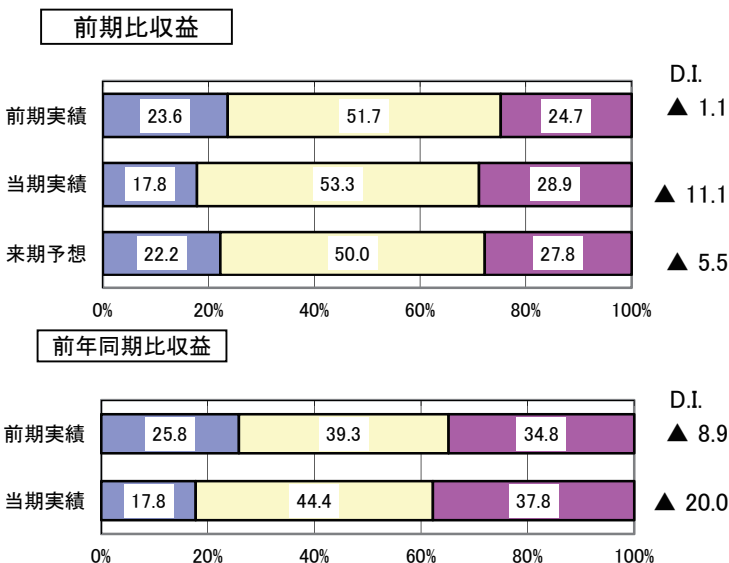
当期の売上額判断D. I. は▲17.7と、対前期比19.9ポイントの低下となり、4期ぶりにマイナス水準に転じました。来期予想については、D. I. は▲4.4と、13.3ポイントの改善となる見込みです。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲15.5と、1～3月期から15.5ポイントの低下となりました。



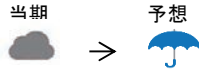
3. 収益

当期 → 予想
☔ → ☁

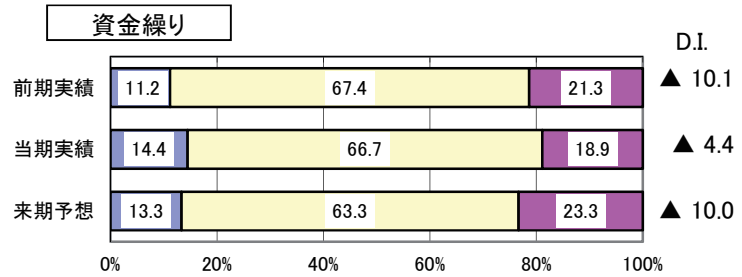
当期の収益判断D. I. は▲11.1と、対前期比10.0ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲5.5と、5.6ポイントの改善となる見込みです。対前年同期比の収益判断D. I. は▲20.0と、1～3月期から11.1ポイントの低下となりました。



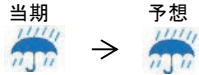
4. 資金繰り



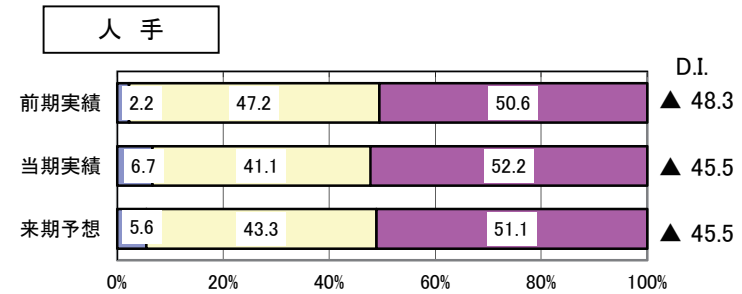
当期の資金繰り判断D. I. は▲4.4と対前期比5.7ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲10.0と、5.6ポイントの低下となる見込みです。



5. 雇 用



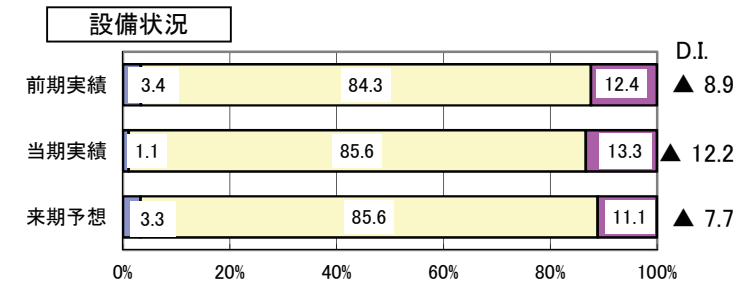
当期の雇用判断D. I. (過剰ー不足) は▲45.5と、対前期比2.8ポイントの小幅改善となりましたが、6業種中、サービス業に次いで厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲45.5と、人手不足感は横ばいで推移する見込みです。



6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲12.2と、対前期比3.3ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲7.7と、不足感は緩和する見込みです。



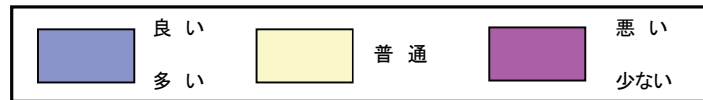
調 査 先 の コ メ ン ト

- 資材の高騰化が、経営を圧迫している。
- 原油・ナフサの影響で、完工できない可能性あり。6月決算に向けて売上減少、横ばいの可能性があります。
- 設備工事全般で工事が減少している。中東情勢が安定するまで必要最少限の工事量の様子であり、他業者も同様。材料資材なども不安定、品薄、値上げで中断する要因が大である。
- 中東の原油不足の影響で資材不足があり、現場作業が延期や未定となっている。人材不足に加え資材不足となり、今後不透明な状況である。少なからず業績への影響は避けられない状況にある。
- 中東情勢により資材が入らず、一部の工事に延期や中止が出てきた。
- 中東紛争の影響で種々の材料が高騰している。道路工事の主材であるアスファルト合材は3月から4月で30%上昇している。官民共に価格転嫁が遅く、6月になって漸く4月度の単価になった。
- ナフサ不足により、材料の納期遅れと値上げが発生した。
- 物価高に加え、色々な材料が手に入りやすく、中止や延期の影響を受けている。
- 中東紛争、オイル、ナフサ不足による弊害の影響が大きい。後半期は部品他納期の不明が発生する。

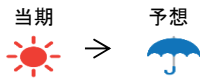
不動産業

～業況等、連続プラス水準を維持するも、来期はマイナス水準に転じる見込み～

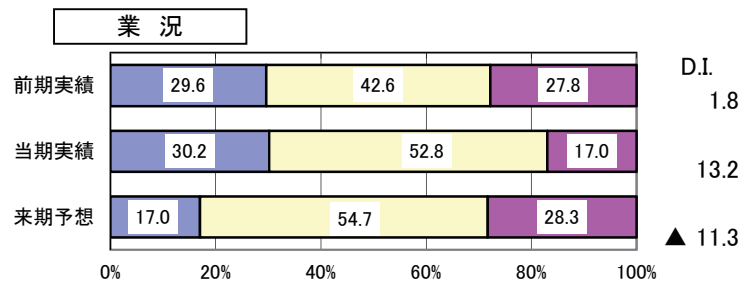
当期実績(2026年4～6月期実績)
来期予想(2026年7～9月期予想)



1. 業 況



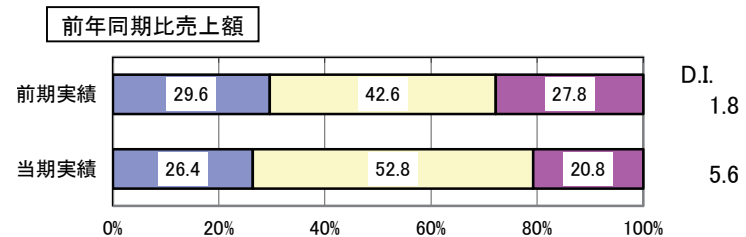
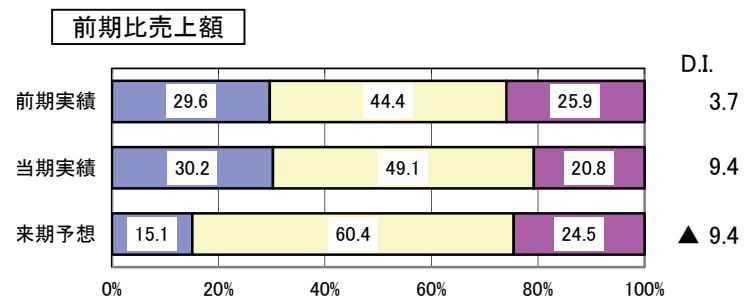
当期の業況判断D. I. は13.2と、対前期比11.4ポイントの改善となり、6業種中、唯一プラス水準を維持した業種となりました。前回調査時における今期見通し(▲7.4)を20.6ポイント大幅に上回りました。来期予想については、D. I. は▲11.3と、24.5ポイントの大幅低下となり、マイナス水準に転じる見込みです。



2. 売上額



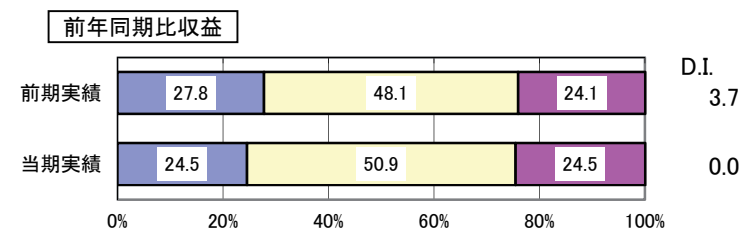
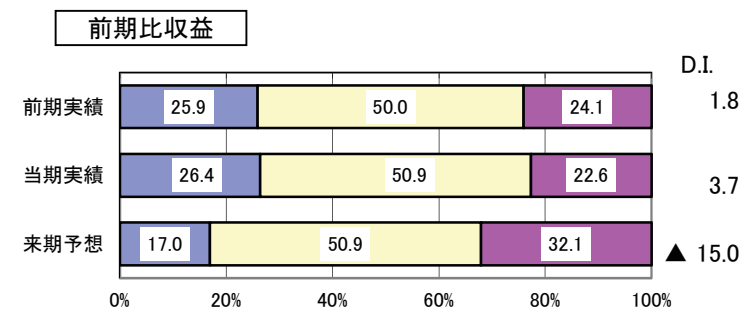
当期の売上額判断D. I. は9.4と、対前期比5.7ポイントの改善となり、2期連続プラス水準を維持しました。来期予想については、D. I. は▲9.4と、18.8ポイントの低下となり、マイナス水準に転じる見込みです。対前年同期比の売上額判断D. I. は5.6と、1～3月期から3.8ポイントの改善となりました。



3. 収 益



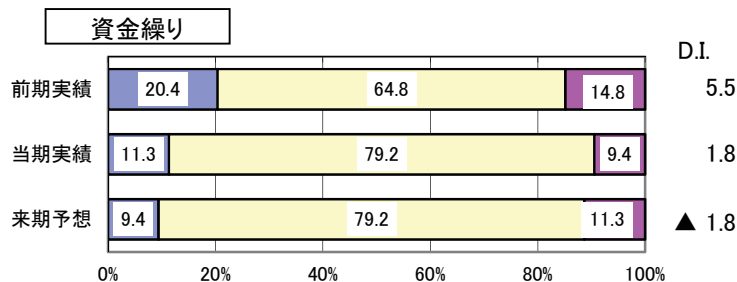
当期の収益判断D. I. は3.7と、対前期比1.9ポイントの小幅改善となり、3期連続プラス水準を維持しました。来期予想については、D. I. は▲15.0と、18.7ポイントの低下となり、マイナス水準に転じる見込みです。対前年同期比の収益判断D. I. は0.0と、1～3月期から3.7ポイントの低下となりました。



4. 資金繰り

当期 予想
☁ → ☁

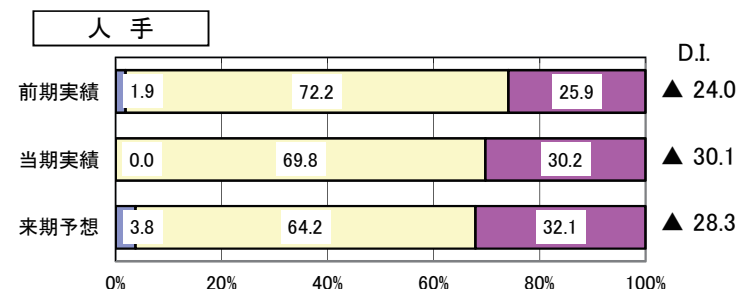
当期の資金繰り判断D. I. は1.8と、対前期比3.7ポイントの低下となりましたが、プラス水準を維持しました。来期予想については、D. I. は▲1.8と、マイナス水準に転じる見込みです。



5. 雇 用

当期 予想
☔ → ☔

当期の雇用判断D. I. (過剰ー不足) は▲30.1と、対前期比6.1ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲28.3と、1.8ポイントの小幅改善となり、人手不足感は多少緩和する見込みです。



調 査 先 の コ メ ン ト

- 不動産仲介と管理・リフォームと会社を分けていたが、年内に合併をする予定です。
- 不動産、建設関係は、相変わらず動きが鈍い状況と思われます。但し、夏以降は徐々に良くなって行くものと見込んでいます。

調 査 先 の コ メ ン ト

* 追加分

(製造業)

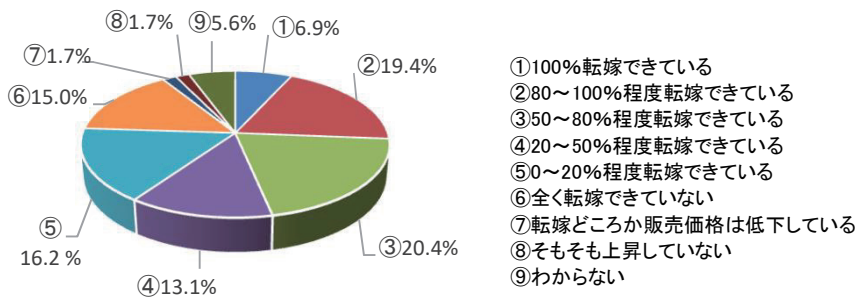
- 中東情勢をはじめとした外部環境の不安定化により、多くの中小企業が原材料・物流・エネルギーコストの上昇に直面しており、収益は一段と厳しさを増しています。
- 相変わらず業界の新規の動きが鈍く、苦戦が続いている。
- 景気動向については、良い話は聞かない。
- 中東情勢の影響により、油類が暴騰している。
- 物価上昇のため、仕事量が減ってきている。中東の問題が解決しない限り、好転は望めません。
- ペーパーレス化の進行が速い。
- 大企業への指導の中に、交渉中に転注防止の項目を入れて欲しい。
- 工業用油が入手できず、仕事が受けられない可能性がある。

(小売業)

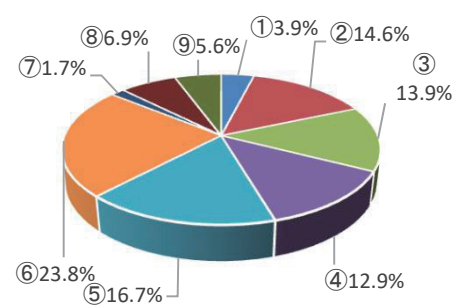
- 週3～4回程度、ラウンドを回るようになり、お客さまのダイレクトな声を聴けるようになったので、その声を売り場に反映させたら、直ぐに売上が伸びました。
- 外国人のお客さまが増えているようです。円安のお陰だと思います。
- 立地的に天候に左右される場所に店舗があるため、予想外に暑く、人出予想に苦労した。

特別調査 ……………「中小企業における価格転嫁について」

問1(原材料・仕入価格の上昇分の価格転嫁)



問2(労務費・人件費の上昇分の価格転嫁)



1.2020年ごろからの原材料・仕入価格の上昇分の価格転嫁について

原材料・仕入価格上昇分の価格転嫁については、①「100%転嫁できている」が6.9%、②「80～100%程度転嫁できている」が19.4%、③「50～80%程度転嫁できている」が20.4%と、50%以上（①～③合計）の転嫁できている割合が全体の46.7%を占めました。一方、⑥「全く転嫁できていない」の15.0%を含め、50%未満（④～⑥合計）の転嫁できている割合が全体の44.3%を占めるなど、価格転嫁は道半ばであることがうかがえます。

2.2020年ごろからの労務費・人件費の上昇分の価格転嫁について

労務費・人件費上昇分の価格転嫁については、⑥「全く転嫁できていない」が23.8%を占め、次いで⑤「0～20%程度転嫁できている」が16.7%と続き、50%未満（④～⑥合計）の転嫁できている割合が全体の53.4%を占めました。50%以上の価格転嫁ができているとした32.4%（①～③合計）に対し、50%未満が上回りました。

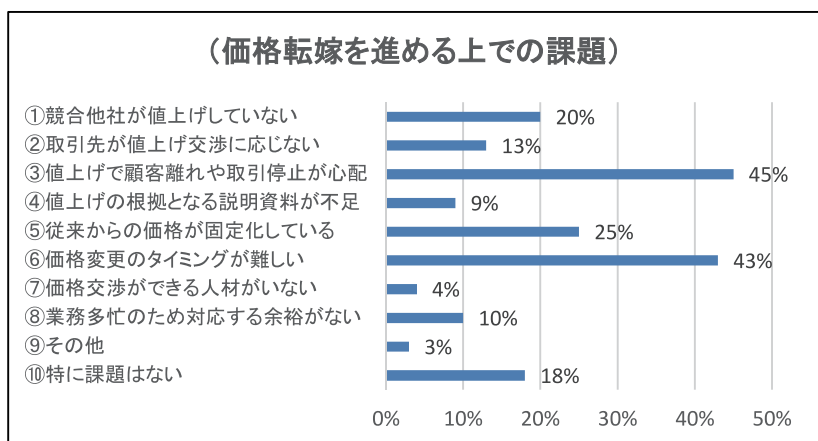
3.円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために重視している取組みについて

円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために重視している取組みについては、「賃上げの事前説明・周知」が51%、次いで「取引先との価格協議」が49%、「競合他社の価格動向の把握」が30%と続き取引先（販売先）との関係性を重視する回答が全体の6割を占めました。一方、「製品・商品・サービス等への付加価値向上」が24%と企業努力を重視する回答も見られました。（最大3つまで複数回答）

4.価格転嫁を進める上での課題について

価格転嫁を進める上での課題認識については③「値上げで顧客離れや取引停止が心配」が45%と最も多く、次いで⑥「価格変更のタイミングが難しい」が43%、⑤「従来からの価格が固定化している」が25%と続きました。一方、⑧「業務多忙のため対応する余裕がない」が10%、⑦「価格交渉ができる人材がいない」が4%といった回答も見られました。

（最大3つまで複数回答）



5.円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で、行政に重視してほしいと感じる取組みについて

円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で、行政に重視してほしい取組みについては、「価格転嫁を促すガイドラインの強化・周知」が37%、次いで「価格転嫁の根拠となる物価指数の提示」が29%、「不公正な取引の取締り強化」が28%、「業種ごとの標準的な価格転嫁ルールを作成」が26%と続き、交渉時の対応を重視した回答が多数を占めました。一方、「特にない」とした回答も21%見られました。

（最大3つまで複数回答）



三浦市地域の生活環境を支え続け、70年

有限会社 三浦衛生社
代表取締役 加藤 隆史

所在地：神奈川県三浦市三崎町六合 271-1
創業：昭和 30 年（1955 年）
事業内容：廃棄物処理業・浄化槽清掃・し尿処理

当社は、神奈川県横浜市鶴見区から三浦市に移住した先代の社長 加藤 隆三氏が昭和 30 年に一般廃棄物処理・浄化槽清掃・し尿収集運搬の「三浦衛生社」を創業。三浦市から「一般廃棄物、し尿収集運搬業」の許可を受け、指定業者として三浦地区一帯の清掃を請負い、地域に根ざした地域環境ビジネスとしてソーシャルサービスを手掛ける会社です。今回、同社の二代目社長であります加藤 隆史氏に話を伺いました。

〇当社の事業について

当社は、現在の三浦市で、先代の社長 加藤 隆三氏が、「一般廃棄物やし尿収集運搬等」の事業を創業、三浦市から委託された指定業者として 70 年の事業実績を持つ会社です。長年にわたり、地域密着型の廃棄物等の収集運搬を主に実績と信頼を築き上げできました。平成 18 年に現在の隆史氏が、後継者として社長に就任、先代社長の「地域のインフラを支える企業」としての意志を引き継ぎ、「地域住民とのつながり」を大切に、対面による信頼を心掛け、事業に対する「誠実さ」と「実直さ」を信念に信頼性向上に努めています。

〇燃料費高騰等によるコスト高の影響について

車両での収集運搬という事業の特性から、中東情勢の悪化によるガソリン等燃料費高騰が響き、収益に影響を受けています。当社の収集運搬業務は、三浦市との委託契約（委託料は従量制）で定められた委託料の下、業務を行っており、売上は安定しているものの、コスト上昇分の価格転嫁ができない分、現在、当社の強みである「信頼」を武器に遺品整理や不用品回収事業などの営業強化により収益向上に努めています。

〇人材確保および育成への取り組みについて

現在、当社の社員は 20 名です。収集運搬業務には、人材確保は業務運営に欠かせない課題です。今年度は、ネットでの採用情報掲載を行い、4 名採用しています。当社の業務が可能なら、

60～70 歳代の方でも就業できるよう年齢枠を設けていません。三浦地区では、浄化槽設置世帯で 7,000 件以上、全体の 7 割を当社が請負っています。特に地域の収集運搬に支障が出ないよう車両（バキューム車・パッカー車）の整備を含め従業員の健康管理には十分配慮をしています。また浄化槽管理士など専門的な資格者がおり、後継者予定である隆史社長のご子息も浄化槽管理士の資格を取得されています。

〇将来の展望について

加藤社長は、地元の三浦青年会議所の理事長を歴任、現在では三浦ロータリークラブに所属し奉仕団体の会長を務めるなど地域貢献に勤しみ、地元での認知度が高い人物です。事業に関しても、地域が必要としている限り誠心誠意、地域のために続けていくといった力強い使命感をお持ちです。また、当社の従業員も担当している地域住民の住宅事情に熟知している他、地域住民との対面による信頼を大切にするなど堅実な社風が、長年の経営を支えている原動力となっていることがうかがえます。



「原油価格高騰対策特別融資プラン」

かなしん グッドドライブ500

地政学リスクの高まりによる、原油・物価高騰をバックアップ！

令和8年4月1日現在

ご利用いただける方	当金庫の会員となれる法人または個人事業主の方	ご融資金利	当金庫所定の利率(固定金利型)
お使いみち	運転資金・設備資金 ※不動産商品物件資金は対象外とさせていただきます	ご返済方法	毎月元金均等返済、元利均等返済、期日一括返済のいずれか
ご融資金額	500万円以内	手数料	●初めて当金庫でお取引いただく場合 新規事業性貸付手数料 11,000円(税込) 及び 新規貸付手数料 2,200円(税込) ●既に当金庫でお取引いただいている場合 新規貸付手数料 2,200円(税込)
貸付形式	証書貸付	条件変更手数料	期限延長 1件につき 11,000円 期限延長以外 1件につき 5,500円※繰上返済含む
ご融資期間	5年以内 ※制度融資利用の場合は制度の期間内までとさせていただきます。	その他	●お申込みに際しては所定の審査がございます。 審査の結果によりご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。 ●返済額の試算はお気軽に窓口にお申し出ください。 ●本商品はチラシのみのご案内となります。 ●店頭にて説明書をご用意しております。 詳しくは本支店窓口までお問合せください。
担保	原則不要		
保証人	「経営者保証に関するガイドライン」の主旨を鑑み総合的に判断させていただきます。		
保証料	信用保証協会をご利用の場合、信用保証協会所定の保証料(保証料率:0.45%~2.20%)が必要となります。		
取扱期間	令和8年9月30日(水)まで		

発行 かながわ信用金庫
住所 〒238-0004 横浜質小川町7番地
編集 かなしん地域総合研究所
住所 〒231-0032 横浜市中区不老町1-3 横浜営業部4F
TEL 045-211-6868 営業時間 平日 9:00~17:00



*本件レポートは情報提供のみを目的とした標記時点における当金庫考え方を示したものです。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。また、この資料は、当金庫が信頼できると考える情報源から得た各種データに基づいて作成されていますが、その情報は正確性および安全性について当金庫が保証するものではありません。